

平成30年度 P P D C Aサイクル表

台帳番号 平成30年度 15 番 当初起案日 平成30年 3月20日所 管 産業建設委員会 担当者 職・氏名 次長補佐 高見 幸宏

サイクル	年月日	内 容 等
計画 Plan	30.3.20	行政視察について、委員会終了後に打ち合わせを行い、視察先や日程等について、次のとおり計画の概要を決定 誰が：産業建設委員会が いつ：平成30年5月7日～9日に どこで：産業建設委員会の所管事項の先進地に 何を：農産物のブランド化戦略や温泉観光の振興等の事例を なぜ（何のために）：調査・研究し参考とするため どうする：視察する
手順・ 経過 Process	30.3.20 ～ 4.3 30.4.4 30.4.12 30.4.16	相手先へ連絡（内諾を得る）。 正副委員長と視察先等について協議・決定。 委員会を開催し、視察先及び内容を決定。 相手方へ依頼分を送付。
実行 Do	30.5.7 30.5.8 30.5.9	視察（委員5人、事務局1人） 鹿児島県霧島市 温泉観光の取り組みについて 宮崎県日南市 IT企業の誘致について 宮崎県日向市 農産物のブランド化戦略について
検証 Check	30.6.15	委員会終了後に打ち合わせを行い、行政視察報告書の正副委員長案を提示のうえ、行政視察に関する意見や感想、特筆すべきことなどについて意見交換を行った。 視察の検証 【鹿児島県霧島市】 ・霧島市内には特色のある4つの温泉郷があり、スタンプラリーの実施や企業キャラクターを温泉大使として起用するなど、加賀市が実施している取り組みに共通する部分が多くあった。 ・ジオパークに認定されている霧島山周辺の自然や歴史文化を生かした

誘客にも努めており、加賀市においても、伝統的建造物群保存地区や九谷焼、山中漆器などの地域の個性、特色を生かした誘客施策を推進する必要がある。

- ・霧島市においても、鹿児島空港の国際線の増便やLCCの就航等により外国人宿泊者が増加傾向にあることから、加賀市においても、小松空港の国際線の増便や開拓、LCCの就航に向けた営業活動を強化すべき。

【宮崎県日南市】

- ・日南市はIT企業の誘致に成功した自治体として全国的に注目を集めているが、実際、約5年間で10社以上のIT関連企業が立地したとのことであった。
- ・成功の要因としては、人脈を生かした民間人を登用して権限と責任を与えたこと、民間人の強いリーダーシップと行動力のもと、商店主や大学生、高校生などと連携した事業を展開したことが大きいと感じた。
- ・加賀市においても、加賀市イノベーションセンターの設置やIT関連企業によるサテライトオフィスの開設、ブロックチェーンやICT技術の利活用に関する民間企業との包括連携協定の締結などにより、IT関連企業のネットワークの広がりに期待したい。

【宮崎県日向市】

- ・日向市は、地域特産の香酸かんきつ類「へべす」のブランド化の推進のため、県や生産者、消費者、JA、大学等による組織を設置し、ファン倶楽部の立ち上げや情報の「拡散」、各種イベントへの参加などに取り組んでいた。
- ・加賀市においても、梨やブロッコリー、カニなどの知名度の向上及び消費拡大にかかる計画の策定、官民連携による組織の設置などにより、加賀市の農産物、海産物のブランド化の推進に積極的に取り組む必要がある。

委員長が上記内容を踏まえて視察報告書の最終調整を行った。

⇒6月19日 全員協議会で報告。

改善 Action	30. 10. 11	委員会終了後、今任期の目標に掲げた一次産業の振興について、特に「ブランド化の推進」をテーマとした提言を行うことに決定。
	31. 2. 4	正副委員長と提言書に盛り込む内容について協議。
	31. 3. 19	正副委員長と提言書の提出時期について協議。
	31. 3. 13	提言書の正副委員長（案）を委員会に提示し、意見聴取。
	31. 4. 11	委員会終了後、提言書の最終（案）を委員会に提示し、意見聴取。
	31. 4. 15	「ブランド化の推進」に関する提言書を議長に対して提出。